



！学校教育目標「笑顔とあいがとうのあふれる五城の子ども」



## 新しい春に向かって

令和5年度が修了しました。今年度も保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力により、無事に健やかに、全ての子どもたちが学校生活を送ることができました。ありがとうございました。

昨年5月からの新型コロナウイルス感染症5類移行前から本校ではほとんどの行事で制約をしないようにしてきました。そこに加えて、社会情勢的にも5月以後は様々な面で開放的になりました。その中で、様々な感染症も流行し、多くの学校で学級閉鎖が続いています。幸いなことに本校はこの4年間、学級閉鎖をすることなく過ごすことができています。これも保護者の皆様のご努力のお陰です。重ねて感謝いたします。

さて、修了式では子どもたちに「あいさつのレベルアップをめざそう」という話をしました。あいさつも十分できているのですが、五城っ子たちなら、まだまだレベルアップをめざせろと思うのです。だから、かなり欲張ってレベルを1～7まで示しました。果たして、4月からの五城っ子たちは、どこまでレベルアップしてくれるのか、新年度がとても楽しみです。

そして、レベルの紹介は、7人の卒業生たちに演じてもらいました。卒業生たちも中学校で、あいさつのレベルをアップしてくれることでしょう。

杉本の主観によるレベル分けです。子どもたちに思いが伝わりますように…

レベル1「あいさつをする」 たとえ、相手に聞こえなかったとしても、あいさつをしている段階です。

レベル2「聞こえる声で、あいさつをする」 聞こえる声は時と場を判断する力も必要ですね。

レベル3「顔を見ながら、聞こえる声であいさつをする」 このレベルをクリアしていれば、小学生の合格レベルです

レベル4「にっこりしながら、顔を見て聞こえる声であいさつをする」 いつも笑顔、なかなか難しいものです。

レベル5「自分から先に、にっこりしながら顔を見て聞こえる声であいさつをする」 小学生最高レベルかな。

レベル6「だれにでも、自分から先ににっこりしながら顔を見て聞こえる声であいさつをする」 家族にも友達にも先生にもお客さんにも登下校で会った人、全ての人に。

レベル7「だれにでも自分から先ににっこりしながら顔を見て聞こえる声であいさつ」してから「一言付け加える」 「今日は天気がいいですね」など、大人でも難しいかもしれません。

「ビデオ撮影してくれる？」と話をもちかけると二つ返事。10分ほどで7場面全部を演じてくれました。表現力が培われた姿を見て嬉しくなりました。

# 飛び出す五城っ子たち



(左)五城小を写真で紹介する1年生  
(上)6年生を送る会で踊ったダンスをする2年生



(上)馬屋上小の発表を聞く3・4年生

馬屋上小とのオンライン交流授業も当たり前の風景に。恥ずかしさよりも発表することのうれしさが勝っています。



2年生は学区探検をしました。藤原店も勉強で訪れると、いつもは見えていないものがたくさんあることに気づきました。



3年生は算数でそろばんで計算をしました。声に出して、指ではじいて、目で確かめます。五感を働かせています。



3・4年生は七輪を体験しました。地域の方に火のおこし方を教えていただいたおかげで、すぐに炭火の準備ができました。持参したおにぎりを焼きおにぎりに。うちわでパタパタ、煙で目がショボショボ、炭火の臭い、そして味わい。五感全開です。



6年生から引き継ぎを受ける5年生。一緒に活動するのも最後です。1年後、お互い大きくなって中学校で会いましょう。  
(右)卒業式の歌を6年生と練習中  
(下)通学班長交代式

地域の方から卒業生にお祝いのちぎり絵をいただきました。今年はポケモンが描かれていました。



## 1年間ありがとうございました！

今年度も本当にお世話になりました。温かい地域の愛に包まれて楽しい毎日を過ごすことができました。幸せな子どもたちです。

来年度は複式学級が3・4年生と5・6年生の2クラスになります。異学年交流が常にできること、グループ分けに幅ができること、前年の経験をダイレクトに引き継げること等々、複式のよさを最大限に生かしていきます。引き続き、変わらぬご援助をお願いします。

校長 杉本和弘

